

催吐リスク アレルギー

腸 Cmab500/d1/c14d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間 (分)	投与日(day)	
デキサメタゾン	注射	6.6	mg		1	
クロルフェニラミンマレイン酸塩	注射	5	mg 生食	100 mL	30	1
アービタックス	500	mg/m ²	生食	250 mL	90	1
				mL		
				mL		
				mL		
				mL		

内服薬

投与基準等

Ⅱ. 投与基準

- ・アービタックスの成分に対し重篤な過敏症の既往歴がないこと
- ・ECOG の Performance Status (PS) が 0～2 であること
- ・間質性肺疾患(胸部レントゲン診断)の合併がないこと
- ・妊婦又は妊娠している可能性のないこと

Ⅲ. 減量基準

隔週投与(用量調節の目安)			
Grade3 以上の皮膚症状の 発現回数	本剤の投与	投与延期後の状態	本剤の用量調節
初回発現時	投与延期	Grade2 以下に回復 回復せず	500mg/m ² で投与継続 投与中止
2 回目の発現時	投与延期	Grade2 以下に回復 回復せず	400mg/m ² で投与継続 投与中止
3 回目の発現時	投与延期	Grade2 以下に回復 回復せず	300mg/m ² で投与継続 投与中止
4 回目の発現時		投与中止	

Grade は NCI-CTC に準じる。

IV. 重大な副作用

重度の infusion reaction (0.5～10%未満)

重度の皮膚症状 (0.5～10%未満)

間質性肺疾患 (0.5～10%未満)

心不全 (0.5%未満)

重度の下痢 (0.5～10%未満)

血栓塞栓症 (0.5%未満)

感染症 (0.5～10%未満)

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

Ann Oncol. 2018;29:44-70, Clin Colorectal Cancer 2017;16:e73-e88.

医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱いについて